



当社のクレーン置場の様子

○本社所在地：
大阪府大阪市西淀川区竹島5丁目4番43号

○事業概要：
・クレーン工事企画提案
・クレーンオペレーションサービス
・クレーンリースサービス

○常時使用する従業員：70名
(2025年5月時点)

○現在の売上高：56億円
(2024年3月期)

○法人番号：3140001053328

○Web：<https://takada-crane.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役会長
高田 実

～人と企業とビジネスの明日をつくる～

- ✓ 私たちはクレーンリース/作業を軸として、関係者のや地域の皆様に支えられてこれまで事業を行うことができしております。
- ✓ 今後は100億円企業という新たなステージを達成し、これまで支えていただいた従業員や地域に対して、賃上げや働きやすい環境の醸成等を通じてより多角的な還元を図っていきたいと考えております。
- ✓ 特に、社会的要請が高まっている脱炭素分野を成長分野と位置付け、当社のノウハウを活かした新たな分野への進出により日本全体の成長にも貢献していきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ✓ 売上100億円の達成目標は2030年3月期と設定します。
- ✓ この実現に向け、年平均成長率は16.7%を目標として設定し、成長を目指します。(27/3期-30/3期)
- ✓ 特に、新たな市場として脱炭素社会実現にも貢献し得る分野を成長分野と捉え、当社の技術を活かすことのできる領域に進出することでこの実現を目指します。

課題

- ✓ 足元の課題としては、対応している案件が新設工事に偏っているため、中長期的な安定性が低いことが挙げられます。
- ✓ 売上100億円企業を目指す上では、このような課題解決も同時に実現し、100億円達成後も安定的な収益計上が可能な企業となることを目指します。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ✓ 売上100億円を達成するため、当社では今後需要が拡大する風力発電の建設現場への新規参入を行います。
- ✓ この分野に進出するため、風車の建設に対応可能なクレーンを新たに導入します。
- ✓ また、風車の建設後のメンテナンス領域にも合わせて参入します。これにより、建設後も安定的な売上の計上が可能となり、当社の課題であった売上の安定性向上も同時に実現することを目指します。

実施体制

- ✓ 本事業の全体統括は、代表取締役会長の高田実が担当します。既存事業も通じた当社全体の推進を行います。
- ✓ 本事業のプロジェクト責任者には、代表取締役社長である高田将太が担当します。
- ✓ この他、営業責任者には代表取締役社長の高田、部品の仕入責任者やクレーンやオペレーターの配置等の責任者には長友を配置し、盤石な体制を整備します。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と課題

【社会的環境】

- ✓ 当社の既存の事業領域はマンションや高層ビル等の施工となる。当該事業分野は今後も緩やかな成長が見込まれているが、100億円の売上を目指す上では成長率が低い。
- ✓ 一方、脱炭素社会の実現が社会的な潮流となっている中、風力発電領域では新設やメンテナンス等の分野でクレーンを活用のニーズあり、高い成長性が見込まれている。
- ✓ 当該領域は先行的に対応する事業者が存在するが、市場の成長速度は更に早いことから、高いクレーンの技術力を有している当社にとっては新規参入の余地は十分にある。

【課題】

- ✓ 当社の課題として、従前の事業領域では建設部分に特化した構造となっており、完工後の事業の連続性を確保できていない。
- ✓ また、施工が多い時期に対応した人材確保を行っているため、閑散期には生産性が低下する構造となっている。

【100億円実現に向けた取組】

- ✓ 異常の環境を踏まえ、当社では100億円企業にステップアップするために風力発電用の風車の建設／メンテナンス領域に新たに進出する。
- ✓ 当該領域に進出するためには、風車建設に特化したクレーンが必要となるが、当社では現在有していない。そこで、今般対応可能な設備を導入するを計画している。
- ✓ 特に、事業開始当初より4~5現場に同時に対応できるよう、9台のクレーンを導入。ドラスティックに市場を確保することで黎明期におけるブランド力を構築し、業界のトップリーダーの地位を構築する戦略を採る。
- ✓ なお、本事業では建設した風車のメンテナンス案件にも対応するビジネスモデルとすることで安定的な売上向上できる体制も構築していく。



当社概要

保有車両ラインナップ

ラフタークレーン

| メーカー | 機種名 | 吊上荷重 |
|-----------|------------|------|
| (株)タダノ | GR-130F-1 | 13t |
| (株)タダノ | GR-130NL-1 | 13t |
| (株)タダノ | GR-160N-4 | 16t |
| (株)タダノ | GR-250N-3 | 25t |
| (株)タダノ | GR-250N-4 | 25t |
| (株)タダノ | GR-250N-5 | 25t |
| コベルコ建機(株) | PK350-2 | 35t |
| (株)加藤製作所 | KRM-35HF | 35t |
| (株)タダノ | GR-700N-I | 70t |
| (株)タダノ | GR-700N-II | 70t |
| (株)タダノ | GR-1000N | 100t |

クローラークレーン

| メーカー | 機種名 | 吊上荷重 |
|----------------|-----------|------|
| 住友重機械建機クレーン(株) | SDX207 | 20t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | SCX550-2 | 55t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | SCX700-2 | 70t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | SCX700-3 | 70t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | SCX900-2 | 90t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | SCX900-3 | 90t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | SCX1200-2 | 120t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | SCX1200-3 | 120t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | SCX2000-2 | 200t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | SCX2000-3 | 200t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | SCX3500-3 | 350t |
| LIEBHERR | LR1350/1 | 350t |
| 住友重機械建機クレーン(株) | 6000SLX | 500t |
| LIEBHERR | LR1750 | 750t |

オールテレーンクレーン

| メーカー | 機種名 | 吊上荷重 |
|--------|------------|------|
| (株)タダノ | ATF100G-4 | 100t |
| (株)タダノ | ATF130G-5 | 130t |
| (株)タダノ | AC 5.220-1 | 220t |
| (株)タダノ | ATF400G-6 | 400t |

安全への取組み

徹底した安全管理体制 メンテナンスと現場パトロール

車両メンテナンスや現場パトロールを行い、社内で独自に制定した安全推進項目に基づいて安全に作業を行っているかを常に確認しています。危険箇所が発見された際には速やかに現場是正を行うよう、徹底した安全管理体制に努めています。



安全大会や安全会議の開催により 安全への意識改革を推進

安全部を設け、定期安全大会の実施、また月に一度の安全会議や管理者講習会により、全従業員に対して安全教育を継続的に行うことで安全水準の向上を図っています。



COMPANY PROFILE

社名 株式会社 高田クレーン興業 所在地 <本社>
〒555-0011 大阪府大阪市西淀川区竹島5丁目4番43号
TEL: 06-6474-9191 FAX: 06-6474-5757

役員 代表取締役会長 高田 実
代表取締役社長 高田 莉太
取締役 高田 勇大
取締役 横路 広美
取締役 瀬下 益美
執行役員 黒田 美由紀

創業日 昭和62年2月 <中島機材センター>
〒555-0041 大阪府大阪市西淀川区中島1丁目35

設立日 平成11年4月2日 <東京支店>
〒205-0023 東京都羽村市神明台2丁目5番地67
TEL: 042-533-4950 FAX: 042-555-2230

資本金 1億4,000万円(資本準備金を含む) <羽村機材センター>
〒205-0023 東京都羽村市神明台2丁目5番地67

従業員数 280名(グループ全体)

免許・許可 ・国土交通大臣許可(特-2)第27867号建設業
(社)全国クレーン建設業協会大阪支部 所属
・宅地建物取引業者免許
大阪府知事(2)第58641号
大阪府宅地建物取引業協会北支部 所属

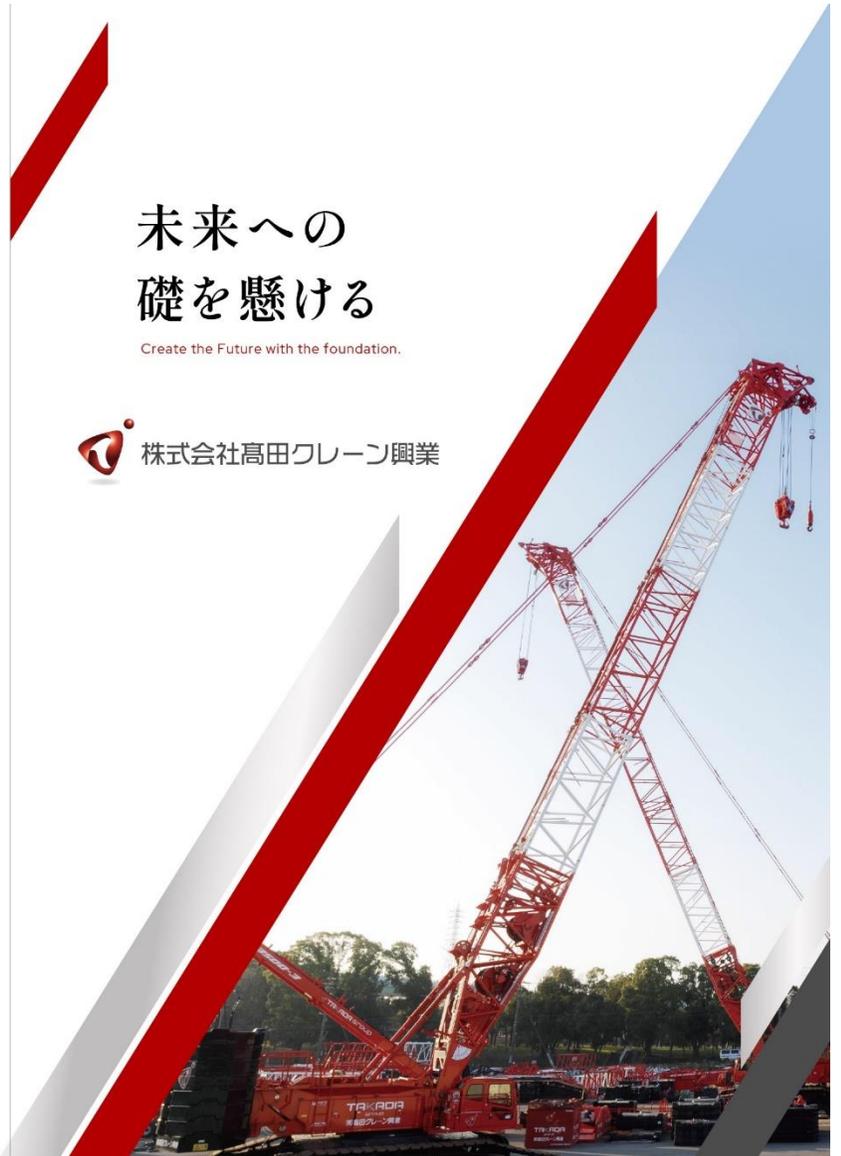
事業内容 クレーンリース・クレーン作業全般

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



産業と環境の調和に向けて 持続可能な未来へ

持続可能な社会に向けて、地域社会の建設産業と自然環境の共生を目指します。2050年「脱炭素 CO2削減の推進」、そしてSDGsへ貢献します。エンジンの排ガス基準に対応したハイブリッド仕様の低騒音・低公害の「環境配慮型」の重機のモデルチェンジ、天然ガスを原料としたGTL燃料の採用を進める他、資源のリサイクル、リデュース、リユースを行うなど、ゼネコン各社とパートナーシップを取り、持続可能な社会を考えた建設工事業を展開しています。



未来への 礎を懸ける

Create the Future with the foundation.

